

| 教材教具および題材 | 学部 | 授業名（主たる教科領域） | 執筆者 |
|--|----|---|---|
| <p style="text-align: center;">スーパーボールづくり ～塩と洗濯のりと水で作ろう～</p> | 小 | <p style="text-align: center;">グループ学習 アザラシグループ (図画工作)</p> | <p style="text-align: center;">柳谷哲也 高木徹</p> |
| <p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本を見て手順を理解し、スーパーボール作りをすることへの期待感を高めながら活動に取り組む。 ・塩や水、洗濯のりを計量カップや計量スプーンで自分なりに計り、決められた量を入れて混ぜる。 ・スーパーボールを発表し、達成感を高める。 <p><内容（作成方法・使用方法・工夫点など）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本を見て手順を理解させ期待感を高める。ひとりずつ前に出てきて作る。 ① 水100CCをカップの線まで入れ、食塩40gを軽量スプーンでカップに入れ、割り箸で混ぜて飽和食塩水を作る。 ② PVA洗濯のりを別の透明カップに1cmほど入れて、飽和食塩水を加える。 ③ 好きな色の絵の具を加えて割り箸で混ぜる。 ④ 割り箸についたかたまりを、手で丸める。 ⑤ キッチンペーパーで水気を取り、完成。 ・できたスーパーボールをそれぞれ発表して達成感を持つ。 <p><良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料を組み合わせると、みんなが大好きなスーパーボールができあがることに興味関心を引き出した。 ・計量カップや計量スプーンを使う経験ができるいい機会であり、多少、量を間違えてもスーパーボールができあがるので軽量する道具を使う際の導入には良い。 ・計量スプーンや計量カップを使う経験は初めてだったので、一人一人、教師と一緒にあって取り組んで行かなければならなかった為、待ち時間が生じた。友達の作っている様子に注目するなどをさせて工夫していかなければならないと考える。 ・活動としては、おもしろい活動であるが、できあがってから時間がたつと、塩が表面に出てきて長く保存するのが難しいところが難点である。 <p><その他（材料、費用、購入先等）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・せんたくのり ・水 ・塩 ・カップ ・計量スプーン ・計量カップ ・入れ物 ・キッチンペーパー | | | |